

浜松協働学舎 支える会より

〒433-8108 浜松市北区根洗町 681 番地の 5 ☎053-430-0596

浜松協働学舎を支える会 代表 荻野英子

2023.12.20

No. 73

理事長就任にあたり



社会福祉法人ひかりの園
理事長 秋山正和

根洗作業所開設 40 周年を迎え、心からのお祝いを申し上げますとともに、これまでの歴史に関わってこられた多くの職員の皆様、ご利用者・ご家族の皆様、地域の方々、行政の方々に心からの感謝を申し上げます。

私は本年 6 月 26 日より前理事長川島順三氏より理事長職を継承いたしました秋山正和と申します。不慣れなため、いろいろと勉強させていただきながら務めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

はじめに、浜松協働学舎の印象を述べさせていただきます。ご利用者と職員の笑顔がとても良い、私達を安心させてくれる、ホッとさせてくれる、これは私の普段の生活では感じられない感覚です。それは飾らない人と人の交わりの結果かもしれません。私も仲間に入れてもらいたい、こんな人間関係も楽しいだろうなと思っております。これは職員のご利用者に対する温かい心豊かな接し方が、友達感覚、ご家族感覚、そして一人の独立した人間として対等の立場で接し、支援をしていることに対して、ご利用者が心からの信頼を寄せている証でしょう。このような交流は普段の日常生活の中で、仕事の中でつながり、どんなにご利用者に明日への希望を抱かせるの

でしょうか。ご利用者の精神的な支えになっているのでしょうか。これを実現させている職員の方々に心からの拍手を送りたい。

浜松協働学舎の周辺で時折見かける職員とご利用者の笑顔と談笑の仲睦まじい散歩の様子など、私にはとても嬉しい場面です。このような日々も、心から「いいな」と思えるこの頃です。実際にはとても大変なことがたくさんあることは想像できます。しかし、それを出さない職員の方々に心からの敬意と感謝を申し上げます。

これまでの 40 年間、今日の浜松協働学舎の姿は理想ではあったのかもしれませんが、現状の実現の形は想定外かもしれません。内なるもの、外形的なもの共に、本当に立派に成長いたしました。さらに令和 6 年には新しい仕事の間も近くに着工いたします。浜松協働学舎に当初から携わった方々、そしてその趣旨・目的を揺らぐことなく継承している後輩職員の方々、障がいのあるご利用者に安心できる居場所の提供と活躍できる場を創り出すことを使命とし、どんなに障がいがあるけれども、働くことを通じて社会に参加し、社会の一員としてなくてはならない存在であることを感じさせたい思いで加わった職員の方々に心からの敬意を表したいと思っております。

また、いつも私達のこの取り組みに協力していただいているご家族の方々にも心から感謝申し上げます。私たち、浜松協働学舎はこの先もご家族の皆様と共にあり、ご利用者に寄り添って参りたいと思っております。今後どうぞよろしくご指導、ご鞭撻、ご参加をお願い申し上げます。

浜松市障がい者自立支援協議会 北エリア連絡会 強度行動障害児者支援ワーキンググループ活動紹介

青葉の家 藤井良之

浜松市北区内で活動している「浜松市障がい者自立支援協議会北エリア連絡会」には、3つの部会（事例検討、北区を知らう、こども）と2つのワーキンググループ（広報啓発、強度行動障害児者支援）（※以下WGと表記）があります。私は令和4年度より強度行動障害児者支援WGのメンバーとして活動しています。

強度行動障害とは、自分の体を叩く、食べられない物を口に入れる、危険につながる飛び出しをするなどの本人の健康を損ねる行動や、他人を叩く、物を壊す、大泣きが何時間も続くなど周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことを言います。生ま

れつきの障がいではなく、周囲の環境や関わりによって現れる状態です。



WGでは北区内の事業所に通う北区在住の強度行動障害の状態にある方がどの程度いらっしゃるかのアンケート、事業所へのヒアリングなどによる実態調査、自閉症支援に関する研修会、施設見

学会などを行うなかで、北エリアの強度行動障害を有する方への支援者のつながり作り（相談し合えるネットワーク構築）を進めています。簡単にはいい取り組みですが、地道に継続的に取り組んでいきたいと考えております。

防災訓練

青葉の家 榎木栄人

11月1日（水）浜松協働学舎の全施設で防災訓練を実施しました。各事業所では避難訓練に先立ち、水消火器による消火訓練や、消防署への通報訓練を行っております。当日は14時に大規模地震が発生したという想定で、各事業所で一次避難場所へ避難しました。同時に根洗寮には本部（無線機や発電機等）を設営し、本部から各事業所へ無線を使用し避難状況の確認を行いました。今回の訓練では、ご利用者・職員合わせて228名が参加しましたが、皆さん迅速な行動をとることができておりました。伝達訓練

後には炊き出し訓練も実施し、根洗町の自治会長、役員の方にも参加していただいております。

災害はいつ起こるか分かりません。事業所での日頃からの備えをしっかりと行うとともに、今後は根洗町とも連携を深めながら自助・共助



の意識も高めていけたらと感じます。また、ご家庭の防災対策も今一度ご確認いただければと思います。また、12月3日（日）には根洗町の防災訓練に参加し、グループホームのご利用者や職員が根洗町公民館へ避難しました。

根洗公民館では安否の確認後、根洗町の方とともに講話を聞き、その後は炊き出し訓練にも参加させていただきました。

根洗町としても、被災時に地域住民に對しどう対応していくかを現在検討しており、今回の参加を通し一緒に考える機会になったと感じております。

今後も平時より地域に根差し、連携していける関係性を構築していけたらと感じます。根洗町の皆様ありがとうございます。

風を創るひとたち都田2023

浜松市北区都田町の都田図書館にて、10月1日から31日までの間、「風を創るひとたち都田版」（静岡県障害者文化芸術活動支援センターみらいと主催）が開催され、浜松市北区6事業所のご利用者が制作した作品が、館内の至る所に展示されました。浜松協働学舎からは、青葉の家やこもれびの家の陶芸作品を展示させていただきました。



日本知的障害者福祉協会東海地区職員研修会

工房めい 大橋奈実世

令和5年10月5日～6日、第60回東海地区知的障害関係施設職員研究協議会が、グランドホテル浜松を会場に開催され、根洗寮、工房めいからそれぞれ2名の職員が参加しました。また、工房めいは授産製品販売にも参加させていただきました。

大会テーマ「フォー スマイル 原点回帰 私たちがなすべき支援とは」を踏まえ、1日目は「中央情勢報告」のほか、分科会において「あなたの笑顔のために私たちが取り組んでいること」「コロナ禍収束で思う原点回帰とは」などのテーマについての事例報告を受け、グループ討



議や意見交換を行い、2日目は、高齢者、若者、子ども、障がい者が「ごちゃまぜ」に暮らす共生の街づくりを進めている、石川県にある佛子園の取り組みについての講演でした。

2日間の研修に参加し、学びを通じて今後の福祉サービスの向上に繋がる気付きや共生社会実現に向けた取り組み、他県の方との交流、繋がりなど大きな

成果を得ることができました。

ワークショップシリーズ・ やったことないをやってみる！ すてつ 大橋正季



毎年、この機関紙で紹介させて頂いている法人の取り組み、「ワークショップシリーズ・やったことないをやってみる！」が今年度も始まっています。おなじみの4人のアーティストを招いての企画なのですが、今年は少し趣向を変えて行っています。このワークショップシリーズから得られるものがとても大きいことに気付いたことから、私たちはこの企画を、法人の「研修」に位置付け、定期的に開催することになりました。毎月法人にアーティストを招き、根洗学園、浜松協働学舎、静光園から職員とご利用者が参加し、「やったことをないをやってみる」ことに戸惑いながらも、楽しみながら学んでいます。技術や知識だけではなく、こうした体験から得られる学びや気付きも法人の強みになっていけばと考えて

います。年明けからは、毎年のように、広く一般の方も招いての本格的なワークショップシリーズが始まります！是非興味のある方もない方も覗いてみて下さい！

浜松協働学舎親の会公開講座

浜松協働学舎親の会事務局 今田博貴

11月10日(金)、第三静光園のかわせみホールにて浜松協働学舎親の会の会員の皆様を対象にした公開講座が行われました。当日はあいにくの天気でしたが、沢山の方に参加していただきました。

今回は相談支援事業所まどの高木誠一氏より「成年後見制度について」というテーマで講義をしていただきました。制度そのものの説明や利用までの手続き等、非常に分かりやすく、また、必要な書類等具体的な話もあり、参加された皆様は熱心に耳を傾けていました。

今後活用出来る大切な情報や知識を得る事ができ、良い機会となりました。



スマイル祭2023

11月3日(金)、浜名湖ガーデンパークの屋外ステージを貸し切り、スマイル祭「ネアロックフェス」を開催しました。今年のスマイル祭はいつもの内容とは一味違い、名称にもあるように、フェス(音楽祭)がメインとなるイベントとなりました。

青空の下、心の中にある自分らしさを音楽に合わせ、思いっきり表現出来たら楽しいのではないかと、「音楽隊ばったん」が日頃から練習している成果を皆様に見ていただける場を作れないかという支援者の想いから開催に至りました。初めての経験ということもあり、ご利用者が慣れない場所で緊張するのではないかと心配しましたが、蓋を開けてみれば焦っているのは支援者で、ご利用者は落ち着いた様子で参加していました。

会場では、音楽に対する情熱を楽器にぶつける演奏者、音楽に合わせ体を揺らしてリズムをとる観客、久しぶりの仲間とのイベントで笑顔が溢れる参加者や、ゴジラの登場で歓喜するゴジラファン、みんなが楽しむ姿をそっと見守るご家族の皆様と支援者と、学舎らしい会場の雰囲気となりました。



今後も学舎らしさを大切に、ご利用者一人ひとりが持っている個性(その人らしさ)が実現できるような楽しみを企画できればと思います。ご利用者と共に楽しむ時間を共有することができ、思い出に残る素敵な一日となりました。

浜松協働学舎根洗寮 大石



日本全国を満喫しています!!!



2024（令和6）年1月1日、浜松市の行政区が7区から3区に変わります。

浜松協働学舎については、全ての事業所が北区または西区で運営を行っております。

このため、1月1日以降については、全ての事業所が「浜松市中央区」となりますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。なお、郵便番号、町字名、番地及び電話番号に変更はございません。最終ページの施設住所については、すでに中央区とさせていただきます。



防災倉庫を設置させていただきました。
浜松協働学舎を支える会の皆様より、倉庫をいただきました。非常災害時の物品を保管するために使わせていただいております。

ラポール根洗

全国障害者スポーツ大会

～燃ゆる感動かごしま大会～に参加して

工房ゆう 鈴木秀明

10月29日～30日に鹿児島県で全国障害者スポーツ大会～燃ゆる感動かごしま大会～が開催され、私は浜松市選手団のスタッフとして参加させていたきました。

さて、かごしま大会ですが、実は2020年に予定されていたものの、新型コロナウイルスの感染拡大により中止になってしまいました。そして今年特別大会として開催されることになりました。このため、第〇〇回となっています。

大会期間中は非常に天候がよく、気温も10月下旬とは思えない気温でした。スポーツをするにはベストコンディションで、日中は半袖でも大丈夫なくらいの陽気でした。桜島の火山灰も大会期間中は影響なく、気になりませんでした。選手たちは良いコンディションの中、これまでの練習の成果を発揮でき、貴重な経験をして帰ってきました。

浜松市や静岡県では、障がいのある方のスポーツ環境を整えるに取り組んでいます。今回のかごしま大会の参加選手の活躍で環境づくりの後押しができたら嬉しく思います。みんなで体を動かして元気になりましょう。

四季彩堂個展

こもれびの家

今年も四季彩堂有玉本店にて、遠州根洗窯の個展を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症は5類になったものの、消毒などの対策を徹底し、感染予防をした上での実施となりました。

今回の目玉は、個性溢れる辰の干支カレンダー。一枚一枚異なる表情のカレンダーをご用意し、大変ご好評をいただきました。ご来店いただきました皆様ありがとうございました。



ふれあい交流スポーツ大会

9月29日（金）に静岡県作業所連合会・わの西部地区表彰大会・ふれあいスポーツレクリエーション大会が、サーラグリーンアリーナで4年振りに行

われました。

永年勤続表彰大会では、10年以上事業所で頑張っているご利用者や職員が表彰を受けました。午前の部では、浜松市を中心に、世界で活躍されているダンサーのYUYAさんが講演をしてくださいました。世界一になるまでの道のりを教えてくださった通り、私たちに熱いエールを送ってくださいました。

午後の部では、YUYAさんと一緒にダンスをみんなで踊り、その後のスポーツ大会では、玉入れやボール送り、パン取り競争を笑顔で楽しみました。「久しぶりだね」「元気だった？」など久しぶりに会えた他事業所の仲間たちと交流を深める場面も見られました。

元氣ライブ

4年ぶりの元氣ライブ（主催 静岡県作業所連合会・わ西部地区会）が、浜北区にある、なゆたホールで行われました。

浜松協働学舎からは「音楽隊ばったん」が出演をして、デイズニーメドレーやボレロ、そしてゴジラ





のテーマなど、皆さんに喜んでいただける曲を演奏しました。

参加したご利用者や職員からは「楽しかった」「他の事業所の演奏を見られて良かった」「楽屋でいっぱいお話出来た」などの声も聞かれ、充実した時間を過ごせたように思います。

敬老慰問

敬老の日を祝う恒例の敬老慰問に、第三静光園を訪問させていただきました。今年は玄関先にお年寄りの皆さんたちが来てくださったので、クッキーを直接手渡すことができました。こどもの日にとにかく「かしわ餅」のお礼も伝えることができました。



交通安全教室

4年振りとなる交通安全教室。新型コロナ対策のため人数制限をしておりました。細江警察

署の交通安全指導員さんにご協力いただき、正しい歩道の歩き方や横断歩道の渡り方など、基本的な交通マナーのお話を聞きました。最後に、信号機の模型を使い、正しい横断歩道の渡り方を体験しました。



やきものまつり

当日は気持ちの良い秋晴れになりました。今回のやきものまつりでは、バザーが復活しました。浜松協働学舎のバザーに期待を寄せてくださっている地域の皆さんは、開店前から行列を作ってくださいました。



今回のやきものまつり限定のパンは、カンパニーをベースに秋の食材をぎっしり乗せた贅沢さ溢れるタルティーヌ！なかなかお目にかかれない逸品で、お客様からは大変ご好評をいただきました。陶器は根洗動物園をテーマに様々な動物たちがずらりと並びました。職

員の手作りの千本くじや的当てゲームはお子さまに大好評でした。

一日を通して、どのブースも大変にぎわってありました。皆様のご来場ありがとうございました。

根洗フェスタ

根洗町の活気溢れるイベント「根洗フェスタ」が4年ぶりに開催されました。当日はあいにくのお天気のため、音楽隊ばったんが参加予定だった器楽演奏は中止とさせていただきますが、地域の皆様による出店でゲームや食事などを楽しみました。しまうま倶楽部のクッキーも販売させていただきました。またバザー品もいただきました。ご招待いただいた根洗町のご配慮には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。

バザー収益は、福祉を取り巻く厳しい社会情勢の中、浜松協働学舎の大切な運営資金となっております。地元、根洗町の皆様には開設当初より地域をあげてバザー品提供のご協力をいただいております。毎年ありがとうございます。

収益金に関しましては浜松協働学舎を支える会収入に組み入れ、浜松協働学舎の活動に有効活用させていただきます。

これからも浜松協働学舎へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。